



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社ノザワ
コード番号 5237 URL <https://www.nozawa-kobe.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 野澤 俊也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 荒木 健介

TEL 078-333-4111

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	11,211	3.9	927	152.2	941	147.9	518	83.8
2020年3月期第2四半期	10,792	9.5	367	73.7	379	73.0	282	70.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 744百万円 (207.9%) 2020年3月期第2四半期 241百万円 (73.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	45.50	
2020年3月期第2四半期	24.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	26,199	16,380	62.5	1,436.50
2020年3月期	25,628	15,921	62.1	1,396.24

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 16,380百万円 2020年3月期 15,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				25.00	25.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,700	3.5	1,450	20.7	1,450	19.3	870	1.8	76.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	12,075,000 株	2020年3月期	12,075,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	672,228 株	2020年3月期	672,053 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	11,402,893 株	2020年3月期2Q	11,403,239 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(四半期連結貸借対照表関係)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大によりあらゆる経済活動が制限され景気は大きく後退、極めて厳しい状況で推移しました。建築材料業界におきましても、国内景気後退により建設投資抑制が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

新型コロナウイルス感染症の収束時期を見通すことが困難な状況の下、当社グループは従業員の安全を確保し生産供給体制を維持すべく、各生産拠点において当該感染症対策に充分配慮したうえで通常生産をおこなっております。各本部・営業拠点並びに国内連結子会社においては、公共交通機関利用者の時差出勤、在宅勤務の実施等により事業活動の維持に努めております。また、当社は当該感染症の医療支援を目的として、N95医療用マスク1万枚を神戸市へ寄贈しました。今後も当社は当該感染症の予防対策に努めながら、当社にできる支援を実施してまいります。

このような状況のなか、当社グループは「やすらぎと安心の創造」のコーポレートメッセージのもと、環境負荷低減と施工現場省力化を実現し、社会に貢献する商品の拡充に努めてまいりました。

本年9月、当社は開発部門の組織を見直し、開発部内に住宅系開発・土木系開発を担当する「第一商品開発室」を、建築系開発・工法系開発を担当する「第二商品開発室」をそれぞれ新設しました。これにより責任体制を明確にし、商品開発力強化を進めてまいります。

販売部門では、色むら・ツヤむらがなく均一かつ重厚感のある仕上がりで、耐候性に優れ、現場作業の短縮にも寄与する「工場塗装品」の販売を伸ばしました。生産部門では、当該感染症への各種対策により生産工場の通常運転継続に取り組み、また、NNPS（ノザワ・ニュー・プロダクション・システム）改善活動により、生産性・品質の向上及びコストダウンに努めました。管理部門では、昨今の不透明な状況を踏まえ、コミットメントライン契約を追加で締結し経営安定化を図るとともに、システムの構築・改善による業務効率化、テレワーク導入等当該感染症予防対策及び資材の安定調達に取り組みました。マインケミカル事業においては、当該感染症による外食・給食向け農産物の需要減や、長雨・豪雨による農産物の作柄への影響から農業資材節減に転じる動きが散見されたこと等により、ミネラル肥料「マインマグ」は前年を下回る状況で推移しました。海外事業は、中国国内のコロナ感染症による経済活動停滞の影響等により、中国における「アスロック」販売は厳しい状況が続いております。

これらの結果、品種別売上高については、主力の押出成形セメント板「アスロック」は、66億70百万円（前年同期比11.3%増加）、住宅用高遮音床材は8億円（前年同期比8.5%減少）、住宅用軽量外壁材は13億25百万円（前年同期比2.1%増加）となり、押出成形セメント製品合計では87億96百万円（前年同期比7.7%増加）に、耐火被覆等は5億74百万円（前年同期比18.9%増加）、スレート関連は3億42百万円（前年同期比20.9%減少）となったこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は112億11百万円（前年同期比3.9%増加）となりました。

利益面については、国内押出成形セメント製品が堅調に推移したこと等により、営業利益は9億27百万円（前年同期比152.2%増加）、経常利益は9億41百万円（前年同期比147.9%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億18百万円（前年同期比83.8%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ受取手形及び売掛金が39百万円減少したものの、現金及び預金が4億6百万円増加したこと等により117億41百万円（前連結会計年度末と比較して2億19百万円増加）となりました。固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ投資その他の資産のその他に含めて表示している繰延税金資産が2億82百万円減少したものの、投資有価証券が3億7百万円、有形固定資産が1億80百万円それぞれ増加したこと等から、144億57百万円（前連結会計年度末と比較して3億51百万円増加）となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ5億70百万円増加し261億99百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ未払法人税等が30百万円増加したものの、火災関連損失引当金が1億92百万円減少したこと等から、54億89百万円（前連結会計年度末と比較して34百万円減少）となりました。固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ訴訟損失引当金が98百万円増加したこと等により、43億29百万円（前連結会計年度末と比較して1億46百万円増加）となりました。この結果、負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ1億12百万円増加し98億18百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が2億33百万円増加したこと等から、163億80百万円（前連結会計年度末と比較して4億58百万円増加）となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は51億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億6百万円増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金の増加は12億7百万円（前年同期は25百万円の減少）となりました。これは火災関連損失引当金の減少額1億92百万円や、たな卸資産の増加額1億80百万円の資金の減少要因があった一方、税金等調整前四半期純利益8億13百万円、減価償却費3億14百万円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金の減少は5億6百万円（前年同期は5億69百万円の減少）となりました。これは有形固定資産の取得による支出3億51百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金の減少は2億86百万円（前年同期は1億17百万円の減少）となりました。これは親会社による配当金の支払額2億84百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、2020年11月11日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。今後、状況の変化等により業績予想の修正の必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,786,404	5,193,199
受取手形及び売掛金	4,659,528	4,619,661
商品及び製品	718,158	687,473
仕掛品	9,289	24,828
原材料及び貯蔵品	145,742	266,337
未成工事支出金	227,425	300,150
その他	979,295	652,723
貸倒引当金	△4,172	△3,052
流動資産合計	11,521,672	11,741,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,080,934	2,118,648
機械装置及び運搬具(純額)	1,535,825	1,595,295
土地	6,473,480	6,473,480
建設仮勘定	59,703	120,621
その他(純額)	298,642	321,146
有形固定資産合計	10,448,587	10,629,193
無形固定資産	16,915	22,975
投資その他の資産		
投資有価証券	2,107,626	2,415,420
その他	1,620,826	1,476,074
貸倒引当金	△87,378	△85,878
投資その他の資産合計	3,641,074	3,805,616
固定資産合計	14,106,577	14,457,786
資産合計	25,628,250	26,199,107

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,483,167	3,488,988
未払法人税等	110,732	141,072
賞与引当金	260,000	283,000
製品補償引当金	85,750	49,639
火災関連損失引当金	331,786	139,730
その他	1,252,995	1,387,289
流動負債合計	5,524,430	5,489,720
固定負債		
長期借入金	245,000	245,000
再評価に係る繰延税金負債	1,466,739	1,466,739
退職給付に係る負債	2,008,626	2,032,925
訴訟損失引当金	56,500	154,500
資産除去債務	13,886	13,903
その他	391,803	416,202
固定負債合計	4,182,556	4,329,270
負債合計	9,706,987	9,818,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	8,477,837	8,711,620
自己株式	△260,303	△260,417
株主資本合計	12,137,105	12,370,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	490,085	700,933
土地再評価差額金	3,142,030	3,142,030
為替換算調整勘定	278,395	280,911
退職給付に係る調整累計額	△126,353	△114,534
その他の包括利益累計額合計	3,784,157	4,009,341
純資産合計	15,921,263	16,380,116
負債純資産合計	25,628,250	26,199,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	10,792,100	11,211,727
売上原価	7,446,788	7,784,729
売上総利益	3,345,312	3,426,998
販売費及び一般管理費	2,977,491	2,499,508
営業利益	367,820	927,490
営業外収益		
受取利息	204	168
受取配当金	52,027	50,691
その他	26,127	21,143
営業外収益合計	78,358	72,003
営業外費用		
支払利息	5,093	3,008
為替差損	15,937	12,895
その他	45,187	41,774
営業外費用合計	66,217	57,678
経常利益	379,961	941,815
特別利益		
保険差益	532,749	—
製品補償引当金戻入益	198,000	—
特別利益合計	730,749	—
特別損失		
固定資産除却損	24,357	30,576
訴訟損失引当金繰入額	—	98,000
火災関連損失	635,146	—
特別損失合計	659,504	128,576
税金等調整前四半期純利益	451,207	813,238
法人税、住民税及び事業税	42,410	108,634
法人税等調整額	126,476	185,746
法人税等合計	168,887	294,381
四半期純利益	282,320	518,857
親会社株主に帰属する四半期純利益	282,320	518,857

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	282,320	518,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54,757	210,847
為替換算調整勘定	1,912	2,516
退職給付に係る調整額	12,176	11,819
その他の包括利益合計	△40,668	225,183
四半期包括利益	241,651	744,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241,651	744,041
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	451,207	813,238
減価償却費	277,820	314,355
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△95	△2,619
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	39,340	41,324
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,000	23,000
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	—	98,000
製品補償引当金の増減額(△は減少)	△1,771,066	△36,110
火災関連損失引当金の増減額(△は減少)	504,406	△192,055
受取利息及び受取配当金	△52,231	△50,860
受取保険金	△645,691	—
支払利息	5,093	3,008
為替差損益(△は益)	15,606	13,260
固定資産除却損	101,697	29,794
売上債権の増減額(△は増加)	1,806,150	35,201
たな卸資産の増減額(△は増加)	△135,028	△180,666
仕入債務の増減額(△は減少)	△450,347	△157,696
その他	△307,612	482,654
小計	△157,749	1,233,830
利息及び配当金の受取額	52,231	50,860
利息の支払額	△1,263	286
法人税等の支払額	80,838	△77,602
営業活動によるキャッシュ・フロー	△25,942	1,207,374
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△560,336	△351,978
無形固定資産の取得による支出	—	△2,970
投資有価証券の取得による支出	△3,305	△3,423
その他	△6,021	△147,717
投資活動によるキャッシュ・フロー	△569,663	△506,089
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,966	△1,350
自己株式の取得による支出	△46	△114
親会社による配当金の支払額	△113,149	△284,969
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,162	△286,433
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,596	△8,055
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△724,364	406,794
現金及び現金同等物の期首残高	5,393,432	4,786,404
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,669,067	5,193,199

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

2007年10月1日付で石綿健康障害による労災認定者であり当社グループの事業活動と直接因果関係が認められるものに対する補償制度を導入したことから、将来当該制度に基づき補償負担が発生する可能性があります。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別生産実績は次のとおりです。なお、その他の事業の生産はありません。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	増減
区分			
押出成形セメント製品	5,108,283千円	5,129,663千円	21,379千円
スレート関連	234,105	202,302	△31,803
その他	79,959	62,719	△17,239
合計	5,422,348	5,394,686	△27,662

(注) 1 金額は、製造価格によります。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業のうち、工事の受注実績は次のとおりです。なお、その他の事業の受注はありません。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
区分						
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
押出成形セメント製品工事	1,204,789	2,342,001	875,836	1,726,754	△328,952	△615,247
スレート工事	57,257	2,680	13,785	—	△43,472	△2,680
耐火被覆等工事	762,654	746,914	427,535	584,243	△335,118	△162,670
その他工事	408,115	382,029	540,100	651,525	131,984	269,496
合計	2,432,816	3,473,624	1,857,257	2,962,523	△575,559	△511,101

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別販売実績は次のとおりです。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	増減
区分			
建築材料関連事業	千円	千円	千円
押出成形セメント製品関連	8,166,065	8,796,737	630,671
(内、アスロック)	(5,993,089)	(6,670,599)	(677,510)
(内、住宅用高音床材)	(874,840)	(800,787)	(△74,052)
(内、住宅用軽量外壁材)	(1,298,134)	(1,325,349)	(27,214)
スレート関連	432,593	342,046	△90,546
耐火被覆等	483,205	574,384	91,178
その他	1,690,024	1,477,247	△212,776
計	10,771,888	11,190,415	418,527

なお、その他の事業の販売実績は、当第2四半期連結累計期間21,311千円であり、前年同期比1,099千円の増加となっております。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		増減
	金額	割合	金額	割合	金額
積水ハウス㈱	2,490,059千円	23.1%	2,405,232千円	21.5%	△84,826千円
伊藤忠建材㈱	1,806,077	16.7	1,580,658	14.1	△225,418

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は、上記のとおりです。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。